



かけはし

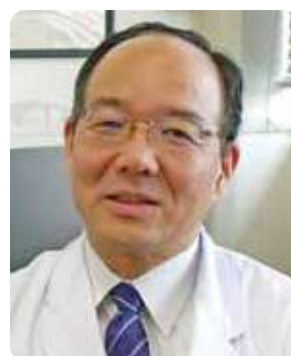


総合患者支援センター長 就任のご挨拶

大分大学医学部附属病院

総合患者支援センター長

杉尾 賢二



本年4月より総合患者支援センター長に就任いたしました杉尾賢二です。専門は呼吸器外科・乳腺外科です。

総合患者支援センターは、その前身である地域医療連携センター（2003年開設）の機能を拡充強化し、地域包括ケアシステムに対応した患者中心の医療を提供するという目的を掲げ、2016年10月に名称変更を行い発足いたしました。その役目は、患者さん中心に種々のサポートを行うものです。①初診時から入院、そして退院後の外来通院や在宅療養まで切れ目のない療養支援を目指します。②入院前から患者さん情報を多職種（医師、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリの療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなど）で共有し、円滑な検査・治療を受けることができるようにサポートします。③患者さんの抱える問題や福祉に関することに対し、専門性を発揮しながら多職種が連携して色々な視点から対応します。他の医療機関と密に連携し、円滑な入退院や転院の相談・手配なども行っています。

総合患者支援センターのカウンターは、病院玄関から入って正面にあり、患者相談窓口を設けていますので、気軽に相談に来てください。受付カウンターの裏にはセンターの仕事を担う部屋があり、30名を超えるスタッフが「受付部門」「患者サポート部門」「地域連携推進部門」の各部門に分かれて仕事をしています。これらの各部門により院内の種々の部門との連絡・連携、院外の医療機関との連絡・連携を密に行うことで、質の高い安全な医療サービスを迅速に提供し、総合的な患者支援を行っています。なお、現在は、新型コロナウイルスの感染拡大防止をふまえて、外来での対応や入院前からの指導・支援を行っています。一部でご不便をかけておりますが、ご容赦いただきたいと思っております。

本院の基本理念である「患者本意の最良の医療」、「安心と満足の医療」の実現のために、皆様方と共に地域における医療の連携を図りながら、患者さんに役立つ病院を目指して努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

糖尿病性腎症重症化予防専門外来開設のご案内

● 大学を含めた全国初の連携協定を締結

大分県は、高齢化が進む中、働き盛り世代からの生活習慣病に関連する糖尿病や高血圧の患者さんが多い状況が続いています。これらの疾患は放置すると致死的な血管障害を引き起こすだけでなく、腎臓機能の低下により慢性腎臓病につながっていき、最終的には透析療法に至ります。大分県の人工透析患者数は2018年12月末時点で、4057人、人口100万人あたり3,546人（全国5番目の高さ）となっており、生活習慣病に関連した腎症による新規透析導入患者数の抑制が大きな課題となっています。

大分大学—大分県医師会—大分県の三者は、大分県糖尿病性腎症重症化予防推進事業に基づき、相互に協力体制を構築し、糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の重症化予防に係わる連携協定を締結（令和元年12月25日）し、慢性腎臓病患者を対象に重症化予防のための個別支援強化につとめていきます。大分大学の役割は、慢性腎臓病の重症化予防に向けた県内のステーションとして、糖尿病性腎症重症化予防専門外来を設置し、専門的な検査や指導などを行うとともに、地域のかかりつけ医の先生方や市町村等が開催する個別支援検討会や研修会への人材派遣などで直接的にも間接的にも患者さんを支援する働きを行っていくこととなりました。

● 「糖尿病性腎症重症化予防専門外来」とは

当外来では、糖尿病性腎症を中心とした慢性腎臓病の腎症重症化予防のための指導をメインとした専門外来となります。かかりつけ医ですでに糖尿病、高血圧、慢性腎臓病などの治療中で、腎症重症化の危険性のある患者さんを紹介いただき、糖尿病専門医（内分泌代謝科専門医）、腎臓専門医、看護師、管理栄養士等と連携して徹底した指導を行うことで腎症重症化を抑制することを目的としています。当外来での指導内容は、患者さんだけでなく、かかりつけ医の先生方等、個別支援に携わる関係者にフィードバックすることで、地域での日々の診療や処方、患者さんの生活習慣の改善などに役立てていただきます。患者さんの当外来への受診は3ヶ月毎を基本としており、遠方の方でも比較的負担なく受診できるように配慮しております。5月末より予約受付を開始し、順次受け入れを開始いたしました。

糖尿病性腎症重症化予防専門外来への紹介イメージ



● かかりつけ医の先生方へのお願い

- ① 完全予約制
- ② 本専門外来あての紹介状（※ホームページより専用の紹介状をダウンロードしていただき、病歴、既往歴、家族歴、治療内容、検査所見、眼科所見、その他などをご記入ください）を原則として事前FAXをお願いします。
- ③ 原則として定期処方本専門外来からは行いません。
- ④ 診察前の血液、尿検査を行います。生理検査（心電図、心エコー、頸動脈エコー、脈波図など）、画像検査（エコー、CT、MRI）などは必要に応じて予約実施いたします。
- ⑤ 受診される月の「糖尿病透析予防指導管理料」はかかりつけ医の先生方の施設での算定はお控えください。

ホームページURL（紹介状ダウンロードできます）

http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/gairai_senmon.html

完全予約制	完全予約制のため、かかりつけ医からの予約が必要です。 電話予約後は、3日以内に 専用の受付票及び診療情報提供書 をFAXにて送付ください。なお、原本は患者さんに持参させてください。 FAX番号（097-586-6358）
予約電話番号	097-586-6360, 6530, 6531（総合患者支援センター）
予約受付時間	平日 9:00~17:00
診療日	火、木曜日 13:00~16:30

ご紹介いただきたい患者さん

外来定期受診中の患者さんのうち、下記のいずれかに該当する方

- 1) 糖尿病歴があり、**尿タンパク1+以上**もしくは
尿中アルブミンが30mg/gCr以上が持続している患者さん
- 2) 糖尿病歴があり、**eGFR 45(mL/分/1.73m²)未満**の患者さん

※糖尿病及び糖尿病歴は、今までHbA1c（NGSP）6.5%以上または空腹時血糖126mg/dl（随時200mg/dl）以上に該当したことがある方



お問い合わせ先

大分大学医学部内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座

柴田 洋孝 / 福長 直也 / 岡本 光弘

専用ホームページ



がんゲノム医療と遺伝カウンセリング

みなさまは、「がんゲノム医療」について聞かれたことがありますか。2019年6月にがんの組織を用いて100種類以上の遺伝子異常の有無を一度に調べられる「がん遺伝子パネル検査」が、条件を満たす患者さんを対象として保険診療で受けられるようになりました。からだの設計図であるゲノム情報に基づいたがんの最適な治療薬を選択することが可能になり、一人ひとりにあった個別化医療へつなぐと期待されています。当院は、大分県内で唯一、がんゲノム医療を受けられる「がんゲノム医療連携病院」に指定されています。

がん遺伝子パネル検査では、がんの治療に役立つ情報の有無とは別に、数%の確率で遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）、大腸がんや子宮体がんになりやすいリンチ症候群など生まれ持った体質（遺伝性腫瘍）と関連している遺伝子の変化がわかる可能性があります。

多くの遺伝子は一定の確率で次世代へ受け継がれます。自身だけでなく、子どもや親、兄弟姉妹など家族にも関係します。遺伝に対する感じ方は人それぞれではありますが、遺伝性とわかったことで不安になる方もいらっしゃるかもしれません。一方、遺伝性腫瘍であることがわかった場合、予防や検診による早期発見・早期治療など対策をとることもできます。

遺伝カウンセリングでは、遺伝性腫瘍に関する正確な情報をお伝えし、今後の健康管理や対策について一緒に考え、心理社会的な支援も行っていきます。必要に応じて遺伝子の検査を行う場合もあります。当院遺伝外来では、遺伝に詳しい臨床遺伝専門医の資格をもつ医師と認定遺伝カウンセラー[®]が完全予約制で遺伝カウンセリング（自費診療）を行っています。

悩まれている方はぜひご相談ください。遺伝外来について当院ホームページ（<http://www.med.oita-u.ac.jp/iden/>）でもご紹介していますのでご確認ください。

遺伝カウンセリングについて

遺伝カウンセリングでは、遺伝に関する悩みや不安をもたれている方に対して、最新で正確な医学的情報や遺伝に関する情報をわかりやすくお伝えし、お話を伺いながら、その人らしく自らの力で解決していけるようお手伝いいたします。

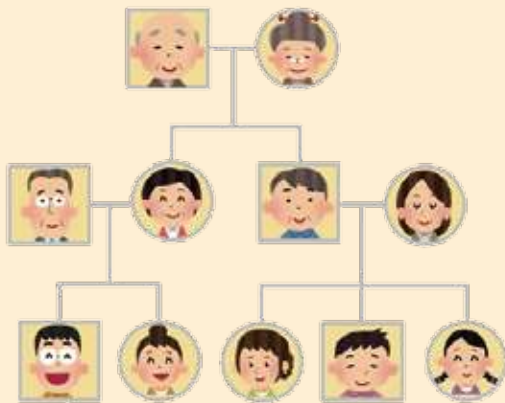
必要に応じて遺伝子の検査を行う場合もあります。

例えば、がんゲノム医療以外にも

* 「親が遺伝の病気と診断されました。
自分も同じ病気になるのではないかと不安」

* 「子どもが遺伝の病気と言われました。
次の子どもがほしいけど遺伝が心配」

など遺伝に関する相談を受けています。



遺伝外来のご予約・お問い合わせ先

大分大学医学部附属病院 遺伝子診療室

電話：097-586-5250（医事課 患者サービス係 直通）

受付時間：9～17時（土日祝日除く）

（文責：遺伝子診療室 井原 健二 / 塚谷 延枝）

病院機能評価(第三者評価)の認定について

本院は、(公財)日本医療機能評価機構による審査を受審し、2020年2月7日付で、主たる機能種別「一般病院3」及び副機能種別「精神科病院」の認定を受けました。認定期間は2025年2月6日までの5年間です。

特定機能病院承認要件を踏まえて2018年4月に新設されたプログラム「一般病院3」では、「ガバナンスの仕組みと実践」「高度の医療の提供」「高度の医療技術の開発および評価」「高度の医療に関する研修および人材育成」「医療安全確保の取組み」「医療関連感染制御の取組み」について高い要求水準が設定されています。

ケアプロセス調査、医療安全ラウンド、カルテレビュー、テーマ別調査、部署訪問、面接調査、病院幹部面談など、様々な評価手法を通じて、本院においてどのように医療サービスが運用され機能しているか確認が行われ、この結果、本院の強みと改善すべき課題を再認識することができました。

今後とも「患者本位の最良の医療」という基本理念の下、より質の高い医療の提供を目指し、皆様の信頼と期待に応えられるよう職員一丸となって努めてまいります。

※本院の評価結果の詳細は、(公財)日本医療機能評価機構のホームページに公表されます。

(文責：医事課)



令和2年度 肝臓教室のご案内

肝臓病の方、ご家族の方、生活習慣病が気になる方、どなたでも参加できます。一度専門医や認定看護師のお話を聞いてみませんか。

場所、時間は日によって違いますのでご注意ください

6月5日(金)

14:00~14:30
7西 カンファレンス室

- * 肝硬変と合併症 (肝臓専門医)
- * 肝臓にやさしい食事 (管理栄養士)

8月7日(金)

14:00~14:30
7西 カンファレンス室

- * 肝臓病とサルコペニア (肝臓専門医)
- * サルコペニア予防の食事 (管理栄養士)

7月3日(金)

13:00~13:30
外来面談室1

- * 高血糖と肝臓の関係 (糖尿病看護認定看護師)
- * メタボ予防の食事 (管理栄養士)

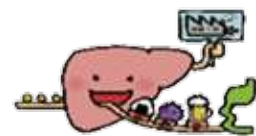
9月11日(金)

13:00~13:30
外来面談室1

- * お酒と脂肪肝 (肝臓専門医)
- * メタボ予防の食事 (管理栄養士)

肝臓のことを正しく理解し、長く付き合っていけるようにしましょう。
毎月開催しています。状況により変更となる可能性があります。
下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先：肝疾患相談センター (電話：097-586-5504)



！ 初診完全予約制が始まります

令和2年7月1日～血液内科, 腫瘍内科

初診完全予約制の診療科はかかりつけ医等の
医療機関から予約及び紹介状が必要です。



【初診完全予約制の診療科】

内分泌・糖尿病内科

膠原病内科

腎臓内科

小児科 (専門分野を選んでご連絡いただきます)

脳神経内科

NEW 血液内科

産科婦人科 (不妊患者・妊娠患者は対象外)

NEW 腫瘍内科

皮膚科 (形成外科を除く)

整形外科 (専門分野を選んでご連絡いただきます)

眼科

歯科口腔外科

腎臓外科・泌尿器科

総合患者支援センター受付

(受付時間 平日 8:30～17:00)

電話：097-586-6360、6530、6531

FAX：097-586-6358

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



あなたの声を待っています。良い病院になるために

患者さんの「声」は要約して載せておりますのでご了承願います。



声

ローソンの近くの病院との間の階段でたくさんの方がタバコを吸っているのが迷惑です。通るだけでもタバコの煙が入って来ます。一般の方も患者も駐車場の警備員もいました。ここだけではなく、大学の下の方の鎖のところに学生のような人が出て吸っていました。敷地外とはいえ、学生にはちゃんと指導したほうが良いのではないのでしょうか。

回答

貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のあったローソンの近くの階段には、喫煙ができないように階段の両側にロープをはり、通路周辺での喫煙を行わないよう注意喚起の看板を設置するとともに、定期的に巡回し禁煙をよびかけています。なお、関係の業者に対しては担当部署から注意喚起を行いました。また、学生については、タバコの健康被害についての正しい知識を伝えるとともに、学生が禁煙するための支援活動を行っています。しかしながら未だにタバコを吸う学生がいることは否めず、今後も継続して学生に向けた禁煙教育を行います。

声

病院職員のセミナーなどの放送は入院患者に関係あるのですか？病室や食堂内で放送は必要ありますか。私も医療関係者ですが、院内放送しか伝達方法はないのでしょうか。患者の安楽のため、検討したほうが良いと思います。

回答

職員への周知を目的とした講演会及びセミナー等の案内については、これまで放送内容や回数の制限を設けて行っておりましたが、複数のご意見を受けて、本年4月から試行期間を設け、院内放送による職員向けの案内を行わないこととしました。試行期間経過後に改めて、必要性の検証や他の方法への移行等について検討を行う予定です。

声

先生、看護師さん、技師さんも事務員さんもみなさんとても優しくフレンドリーでした。無理なお願いをしてもすぐには断らず、一旦話を聞いてくれました。病気はしたくありませんが、また入院したいと思います。とても楽しい入院でした。ありがとうございました。

回答

この度はお褒めのお言葉をいただきありがとうございます。今後も引き続き、スタッフが一人となりサービス向上に努めて参ります。

(文責：病院長)

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

